環境問題新聞『感今日』

三重県亀山市立中部中学校2-A

〜東南アジアの焼畑農業〜

四国と同じ広さの森が消える！

熱帯雨林の地域では、近年人口が増えつづけています。それにともなって食物も増やさなければならない。まず、森林を焼きはらい焼けあとに農作物を栽培する。2〜3年農地として使うと土の栄養分が少なくなってしまいます。そこでほかの場所に移って、同じことをくり返すのです。これが、焼畑農業といわれる原始的な農業のやり方です。このやり方によって森林は不毛な砂漠に変わっていきます。

「わかったこと、感想」

焼畑のせいで砂漠化が進んでいくので地球に悪影響だと思いました。だから、焼畑はやめた方がいいと思いました。

地球温暖化

温室効果ガスの大気中の温度が上がる現象を地球温暖化といいます。特に問題化されているのは二酸化炭素で近年排出量が急増してきているからです。二酸化炭素は石油石炭など化石燃料の燃焼などにより排出され日本は世界全体の5%を排出しています。

影響！！！！！！

地球の平均気温が高くなることで海水の温度が上昇し蒸発する水の量が増えその結果雨や雪の量が増加します。それも局所的に降る集中豪雨や台風の発生が増大すると予想これここ数年でも世界中で甚大な自然災害が発生してしまいます。

対応？？？？？

自動車業界では環境エンジン、ハイブリッドなど二酸化炭素の排出が少ないエコカーの開発を実用化しており個人レベルでは節約のようにアイドリングは止めるようにしたいものです。

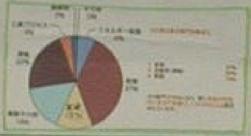
家庭では無駄な消費電力、例えばエアコンの温度設定を1度上げるだけで二酸化炭素の排出量は10%も削減できるといわれています。

なるべく省エネの家電製品を選ぶことも一つの方法です。

そして家庭にクリーンエネルギーの太陽光発電システム[illegible]量の[illegible]すれば、CO2を約25%削減が見込まれます。

電気はどのように作るの？

発電所でつくられる → 各変電所へ送られる → 配電変電所に送られる → 各家庭に送られる



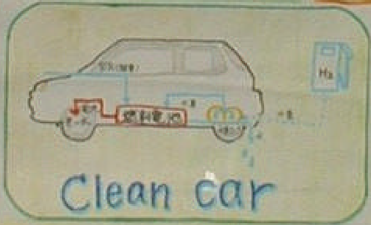
環境省資料

二酸化炭素

CO2CO2CO2CO2C

わたしたちは何故二酸化炭素が増えるのかということについて考え合いました。

そこで、自動車の排出する二酸化炭素を出さないクリーンカーに目をつけました。左にあるのはそのクリーンカーのしくみです。

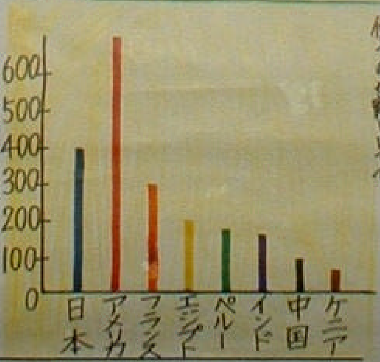


自分たちにできること

- ・米のとぎじるを植物の水やりに使う
- ・水を出しっぱなしにしない
- ・洗剤を使いすぎない
- ・油はふきとり流さない
- ・台所などのゴミを流さない
- ・川にゴミをすてない

川のよごれの原因

環境調査で東京湾のよごれのうち工場や事業所などからでる排水は3割で残りの70%は家庭からでる生活排水ということがわかりました。これは生活排水の処理が法律で定められていないからなのです。さらに全国的な下水道の普及は人口の約60%でしかないという現実もあります。その結果、東京湾に注ぐいくつもの川に多くの生活排水の流れこみそのまま東京湾にたまってしまうのです。



1日に使う水の量

日本人は、1日1人あたりが2000ℓの水を使うといわれています。これには工場や商店や水田などで使われる水もふくまれています。家庭で使う水だけでもおふろのお湯をとりかえれば約300ℓ、トイレを流せば1回19ℓ、洗たくで30〜60ℓと、[illegible]1日に数百ℓ以上の水を使っています。ところが、世界の人口のおよそ半分にあたる45億人の人々は1日あたりわずか30ℓ以下の水しか使っていません。そしてその中の多くの人々が[illegible]水を使うのが難しいです。

三重 県 亀山 市

中部中学校２年Ａ組